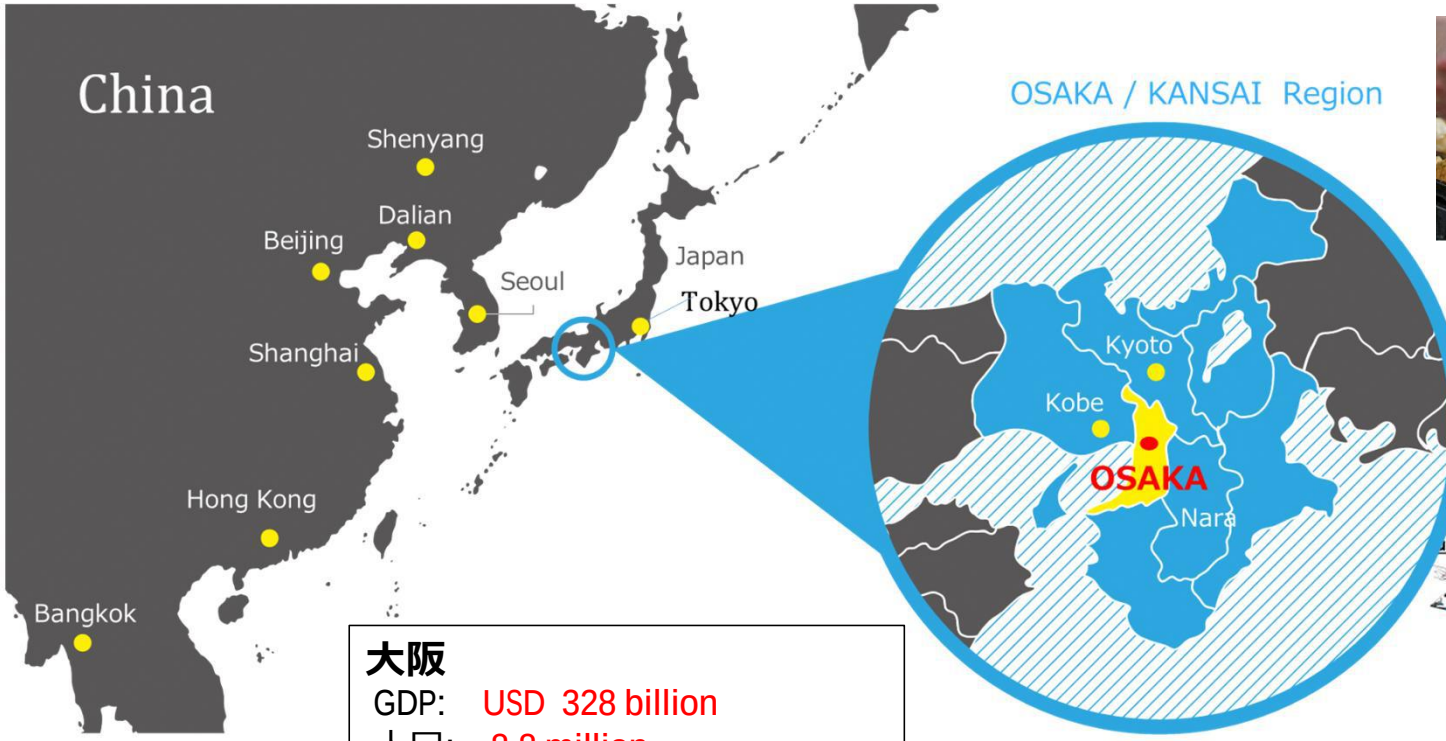
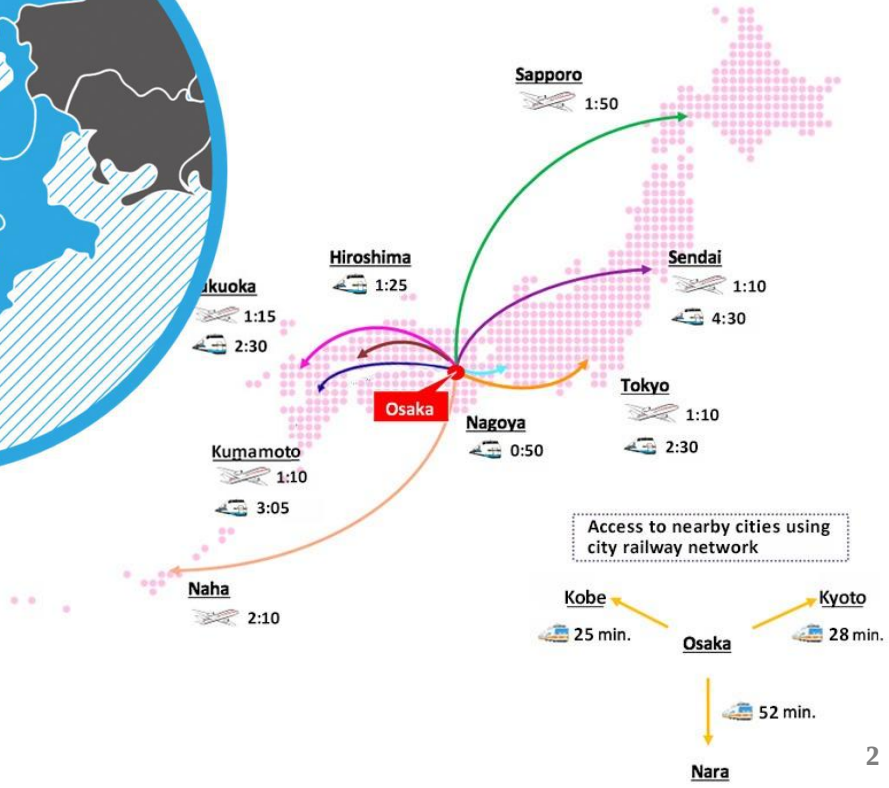

大阪のビジネス魅力
大阪府・大阪市

大阪の立地







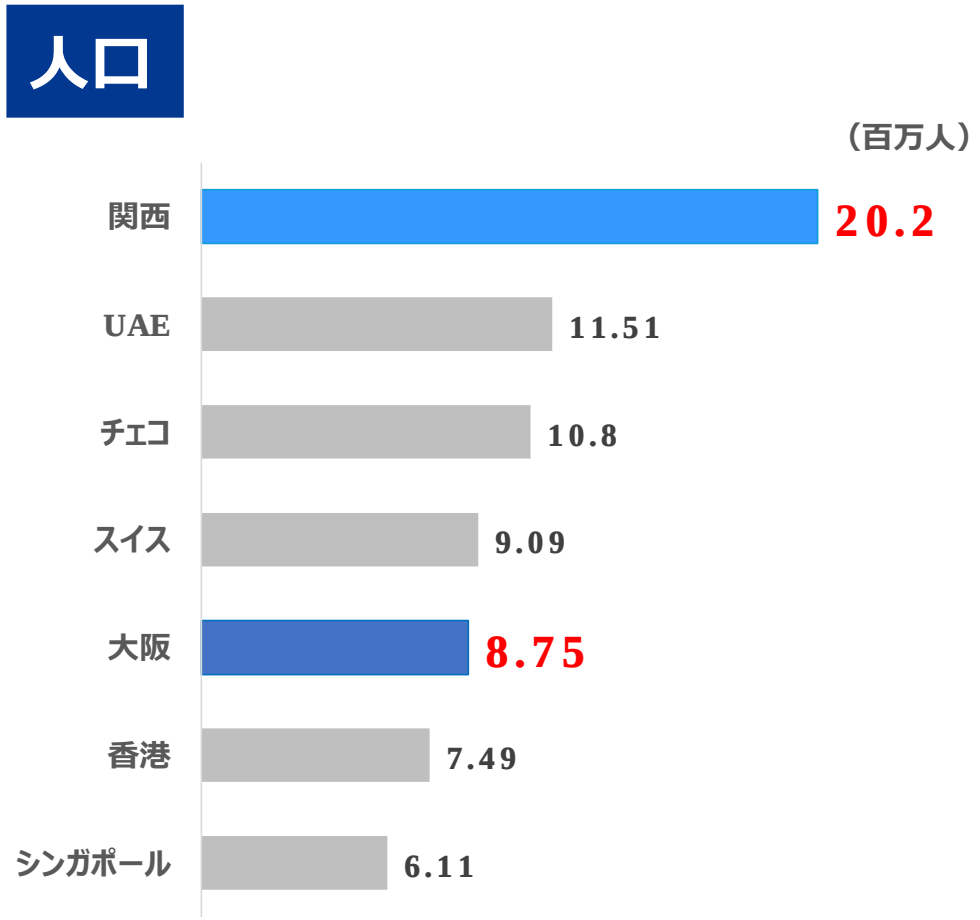


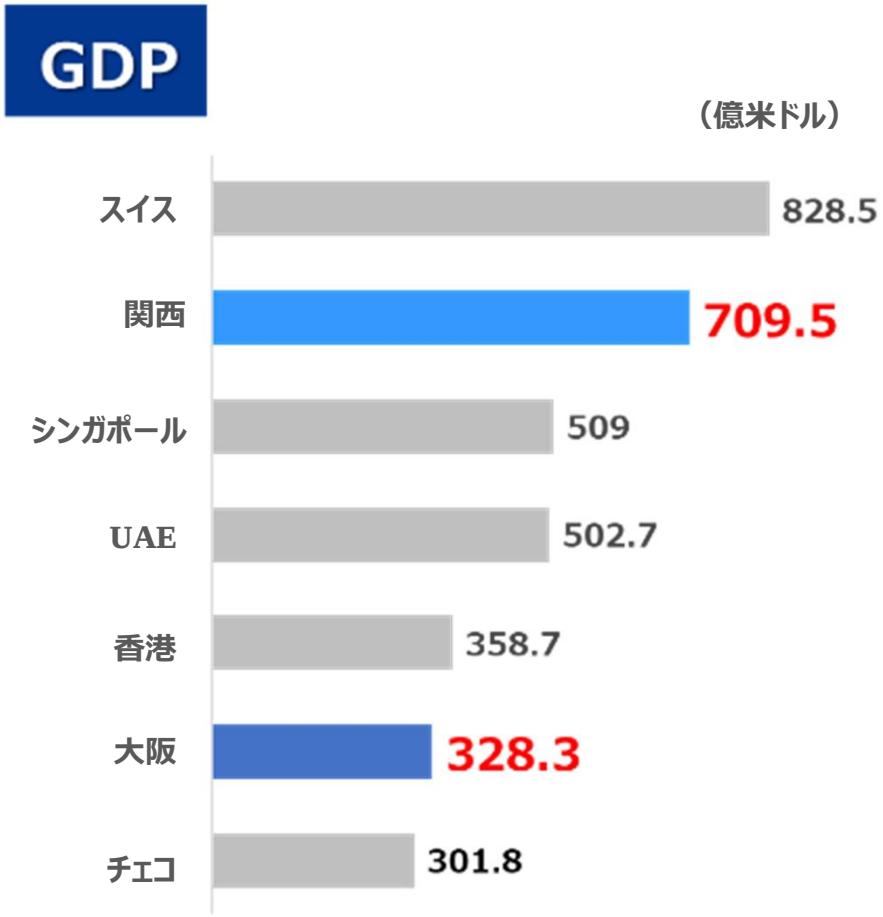
大阪
GDP: USD 328 billion
人口: 8.8 million

関西
GDP: USD 709 billion
人口: 20.2 million
(GDP: 2022 / 人口: 2025)

関西: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

大阪府人口･府内総生産の国際比較

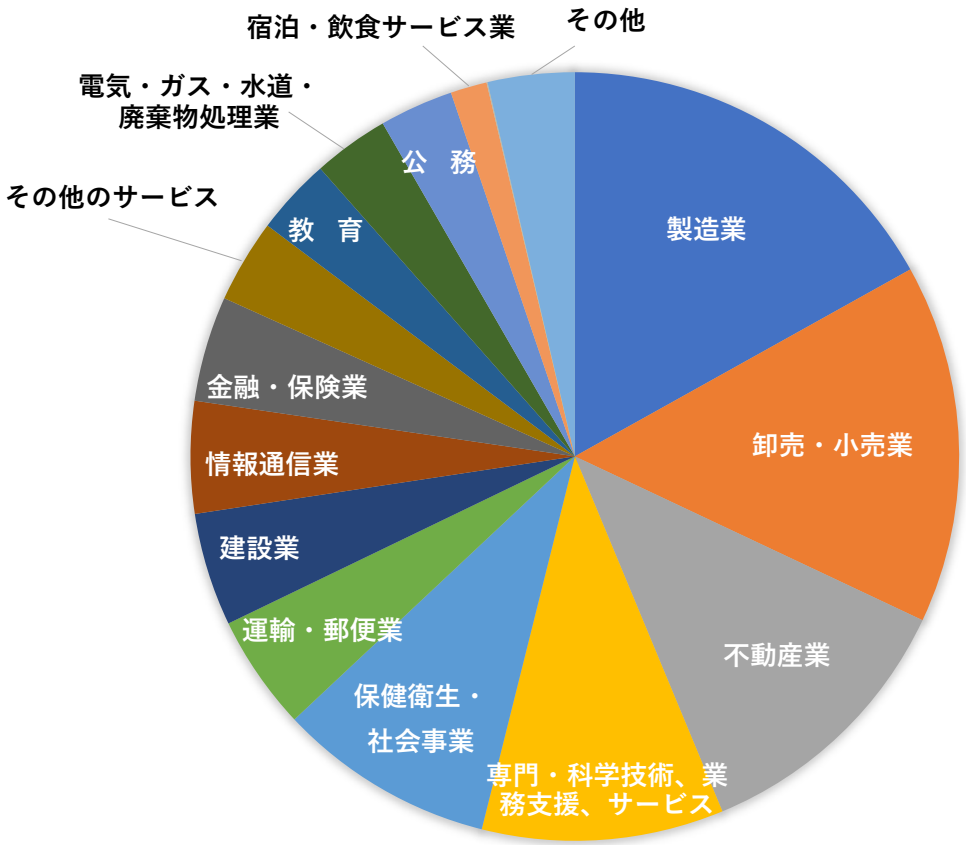




出典：：IMF「GLOBAL NOTE」、総務省「人口推計」

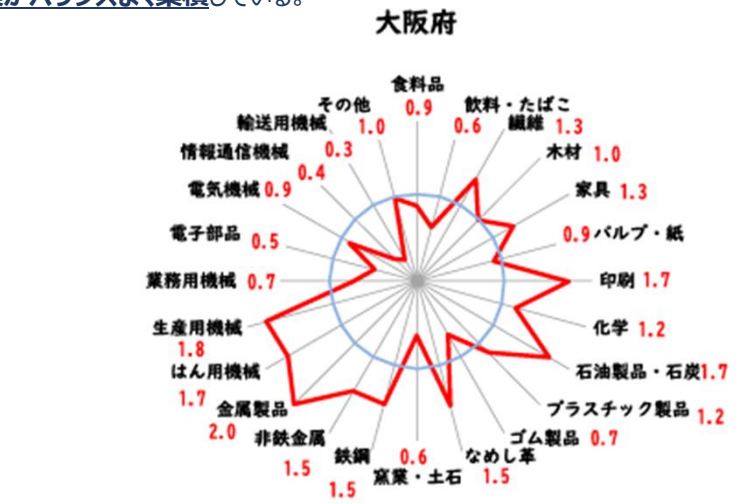
大阪の産業

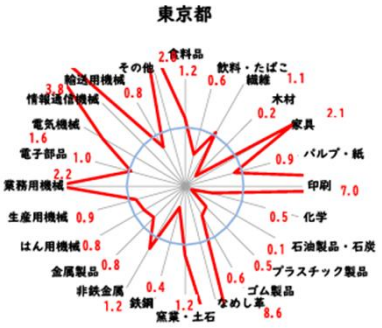
大阪府　産業別名目GRP（2024）

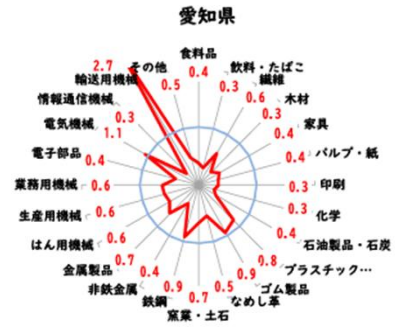


大阪府　製造品出荷額等の特化係数（2023）

※全国の製造品出荷額等の構成比に対する、都府県における当該業種の製造品出荷額等の構成比の比率。2を超えたり0.5を下回ったりする産業が少なく、**各産業がバランスよく集積**している。



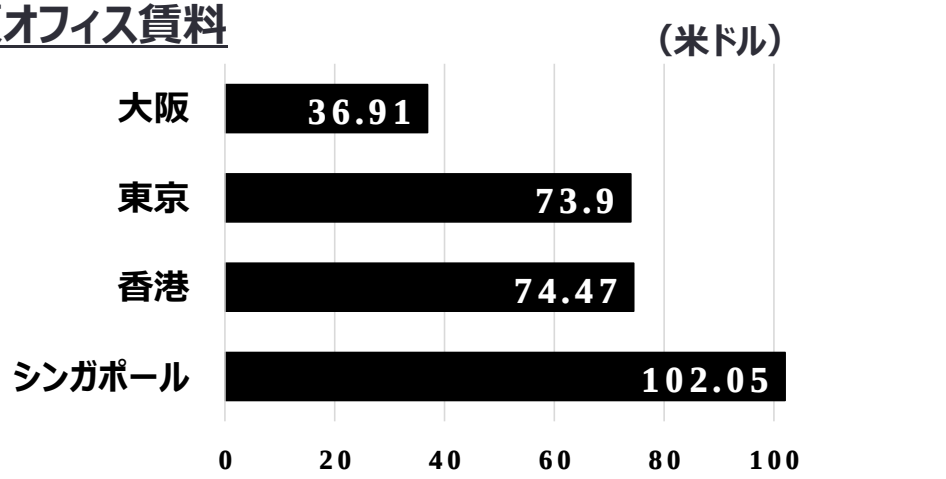




出典：大阪府「2025年度版なにわの経済データ」

大阪の生活魅力

◆月額オフィス賃料



【月額家賃（米ドル/㎡, 2026 H1）】

◆平均賃金



【月額賃金（米ドル/月, 2025）】

出典:Colliers「Asia Pacific Office Market Insights 2026」

◆世界で最も住みやすい都市ランキング (2026)

1	コペンハーゲン（デンマーク）
2	ウィーン（オーストリア）
3	メルボルン（オーストラリア）
4	シドニー（オーストラリア）
5	チューリッヒ（スイス）
6	ジュネーヴ（スイス）
7	**大阪（日本）**
8	アデレード（オーストラリア）
9	バンクーバー（カナダ）
10	東京（日本）

出典: Economist Intelligence Unit 2026

大阪発祥　より良い社会をめざす試み

◆ 大阪人は**古くから新しい物事に取り組む気質**がある
◆ 世の中をよりよくするため、**世界初となる新たな社会システム・製品**などを数多く創出

世界に先駆けた先物市場の開設
（堂島米市場）



世界の食文化を変えた
インスタントラーメン





緩まないナット
NASAの発射台にも採用



自動改札機



回転ずし



世界で活躍する大阪の企業

◆ 多種多様な分野で数多くの大阪の企業が世界で活躍







Ono Pharmaceutical



Takeda Pharmaceutical









Nissin Foods











大阪・関西万博の成果と万博レガシー

◆開催概要



提供：2025年日本国際博覧会協会

開催期間 2025.4.13～10.13 （184日間）

来場者数 約2,902万人　**参加国等** 158 か国・地域、7 国際機関

万博がもたらしたもの



©Expo 2025

未来社会を先取りする **革新的な技術の数々**

大阪・関西、日本各地の **魅力発信**　世界との **多彩な交流**

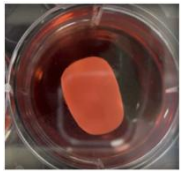


【イタリア ロンバルディア州 覚書（MOU）締結式】

『投資の呼び込み』＋『都市プレゼンスの向上』

【運営費】最大約370億円黒字　【経済波及効果】約3.6兆円 ※経産省試算

◆ 新技術の創出



心筋シート



空飛ぶクルマ　デモフライトの様子
©SkyDrive



フィルム型ペロブスカイト太陽電池
提供：積水化学工業株式会社

◆ ビジネスチャンスの向上

◆ 商談会やセミナー・交流会等を通じたビジネスの提供
- ✓延べ海外企業　7,500社超
- 国内企業　17,000社超　が参加

◆大阪府・市で延べ18の国・都市等とMOU締結

副首都として成長を目指す万博後の成長戦略

■めざす副首都の姿

平時の日本の成長エンジン　　非常時の首都機能のバックアップ

○副首都法（国家社会機能継続性確保施策及び副首都の整備に係る施策の推進に関する法律）　＊令和8年7月31日公布

➤大規模災害に備え、副首都の整備に係る施策・国家社会機能の継続性が確保された国土の形成を図るための施策の基本理念等を定める

➤施策を総合的・計画的に推進し、もって公共の福祉の確保、国民生活の向上、多極分散型経済圏の形成を通じた我が国経済の成長に資することを目的

■Beyond EXPO 2025（万博後の大阪府市の成長戦略）

基本方針　副首都・大阪の早期実現 及び 日本の成長をけん引

めざす都市像　世界に伍する経済力・都市力を有し、唯一無二の魅力がある都市

➡ <目標>
2040年代に
名目GDP80兆円を実現
（2022年度：約43兆円）

【重点分野】

- 経済力　◆大阪独自の強みを活かした次世代産業にチャレンジするイノベーション先進都市
- 都市力　◆大阪独自の魅力を発揮したワクワク・オモロいを掻き立てるエンタメ都市

【大阪が強みの発揮できる分野（成長産業分野）】

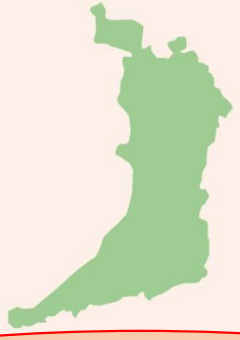
ライフサイエンス　カーボンニュートラル　モビリティ　ロボット・AI　スタートアップ

⇨ 万博のレガシーを活かして更なる成長へ　未来創造会議

大阪の投資魅力について

①カーボンニュートラル

②ライフサイエンス



④スタートアップ

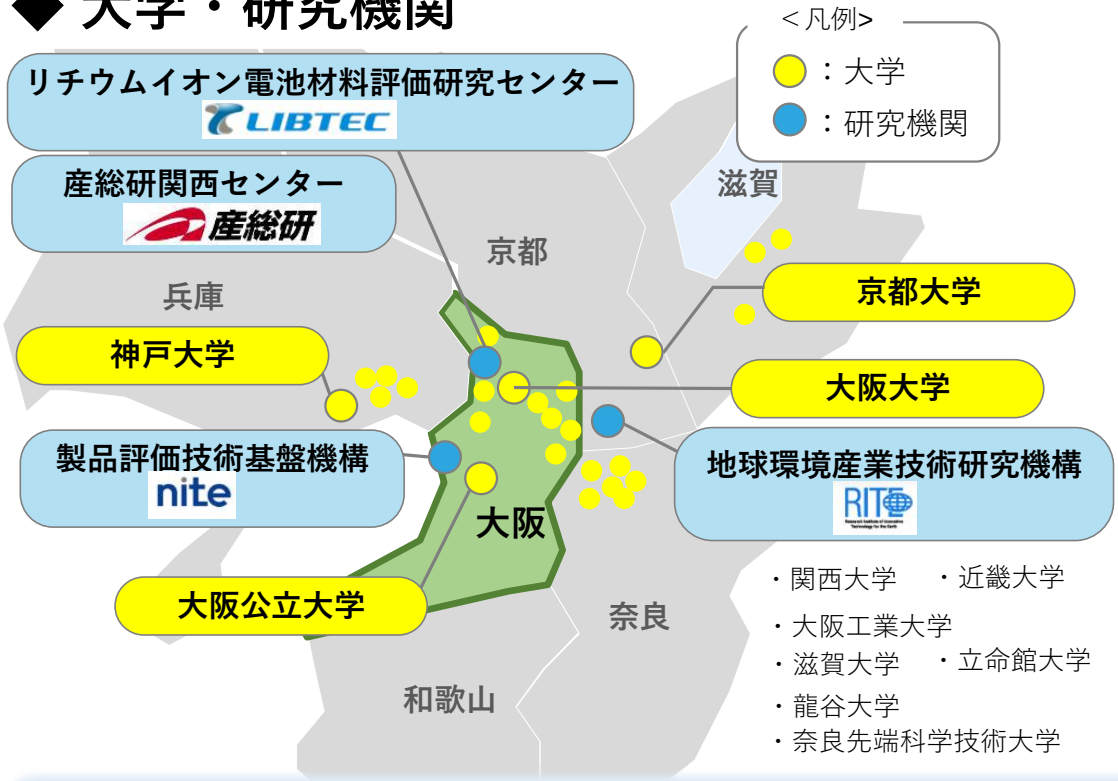
③インバウンド

起爆剤となるプロジェクト

①	②	③	④	⑤
大阪・関西万博	都市開発プロジェクト	スタートアップエコシステム構築	国際金融都市	IR誘致

カーボンニュートラル～ディープテックにおける大学・研究組織・企業の集積～

◆ 大学・研究機関



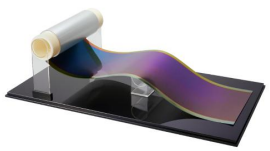
◆ 企業

技術		企業の例
電池	フィルム型 ペロブスカイト太陽電池	SEKISUI
	定置型水素燃料電池	Panasonic
蓄電池	車載用リチウムイオン電池	Panasonic ENERGY
	電力システム用蓄電池	SUMITOMO ELECTRIC
次世代エネルギー	メタネーション	Daigas Group
	水素・アンモニア関連技術	Kanadevia　ChugaiRo
暑熱対策	放射冷却素材	SPACECOOL
新素材	金属有機構造体（MOF）	Daigas Group
	生分解性バイオポリマー	kaneka
高効率機器	海水淡水化プラント	Kanadevia　TOYOBO
	空調・冷凍冷蔵	DAIKIN

◆技術の例

○フィルム型ペロブスカイト太陽電池

薄く、軽く、曲がる特徴を有し、これまで設置が困難であった耐荷重の小さい屋根等へ設置が可能



○メタネーション

・CO_2と水素からメタンを合成する技術
・発電所や工場などから回収したCO_2を利用可能

ライフサイエンス～ディープテックにおける大学・研究機関・企業の集積～

北大阪健康医療都市（健都）
医療基盤・健康・栄養研究所
国立循環器病研究センター

神戸大学

神戸医療産業都市（KBIC）
理化学研究所 計算科学研究センター（R-CCS）
(Supercomputer Fugaku)

彩都（国際文化公園都市）

＜凡例＞
：大学
：研究機関
：企業

58
大阪の大学数
東京に次いで2番目に多い

京都
滋賀
兵庫
大阪
奈良
和歌山

・京都高度技術研究所
・京都大学iPS細胞研究所
・けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

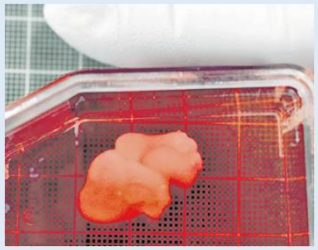
中之島クロス
（未来医療国際拠点）

京都大学
大阪大学
量子情報・量子生命研究センター
大阪公立大学
道修町（企業集積地）



▸ 研究機関、スタートアップ支援機関、国の審査承認機関等が入居


▲心筋シート(※1)


▲試作された「iPS心臓」(※2)

・滋賀医科大学
・京都府立医科大学
・奈良県立医科大学
・和歌山県立医科大学
・近畿大学 (医学部)
・関西医科大学
・兵庫医科大学
・大阪医科薬科大学

Nakanoshima Qross（未来医療国際拠点）

◆**医療機関、企業、スタートアップ、支援機関等が同じ建物の中に集積する他に類を見ない拠点**
◆大阪・関西のみならず**日本全国の各拠点と連携。All Japan体制での未来医療の産業化・実用化を世界に発信**
◆ヘルスケア領域の社会課題解決を目指し、日本生命と米国発世界最大級のイノベーション施設オペレーターである**CIC**の共同プロジェクトによりライフサイエンス特化型イノベーションキャンパス**(O-Nexus)**が**Nakanoshima Qross**に誕生



Nakanoshima Qross HPより



Nakanoshima Qross HPより

O-NEXUS
by Nippon Life and CIC





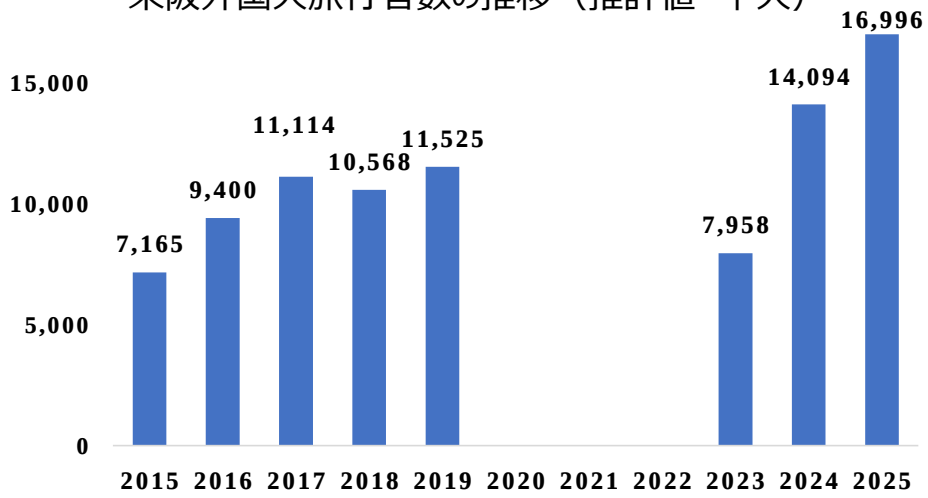
O-Nexus HPより

インバウンド

Strength

2025年外国人旅行者は、コロナ前の2019年比で約47%増となり、過去最高を更新。

来阪外国人旅行者数の推移（推計値　千人）



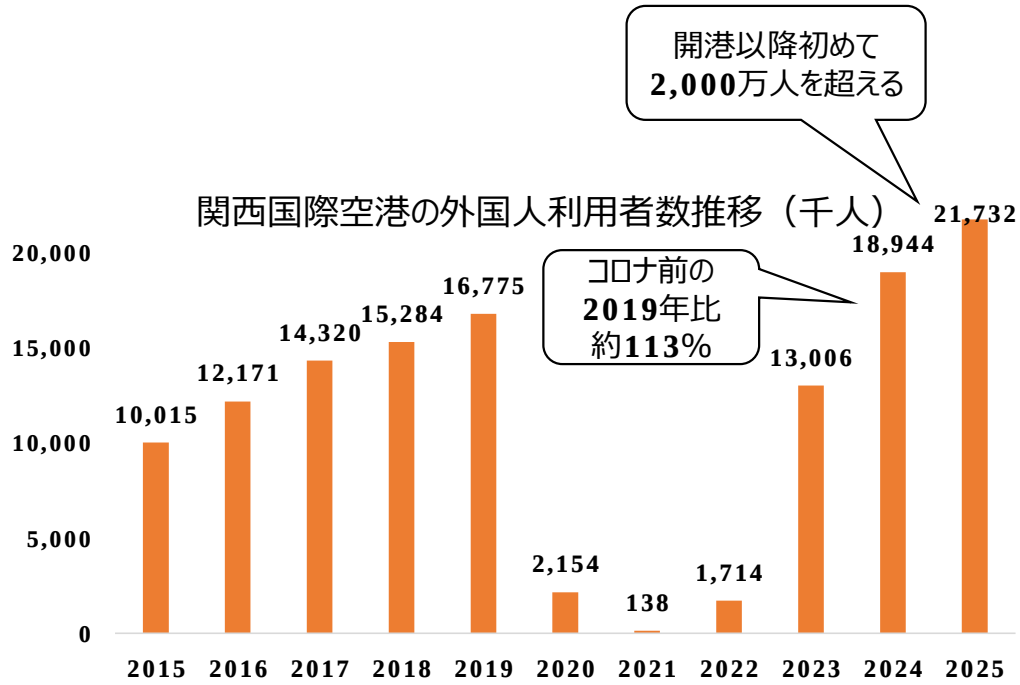
出典：大阪府「訪日外国人旅行者数及び来阪外国人旅行者数の推移」

※2020～2022年は調査未実施のため算出無し
※2023年は4月～12月の数値

Opportunity

コロナが収束に向かい
インバウンドの復活が見込まれる

関西国際空港の外国人利用者数推移（千人）



出典：Kansai Airport「関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港利用状況」（2026年）

スタートアップエコシステムの整備

◆大阪府・市の経済施策を担う「大阪産業局」を中心に、資金調達・人材獲得・海外進出など、**スタートアップ企業に対し各種の支援施策を提供**

スタートアップイベント「**Hack Osaka**」

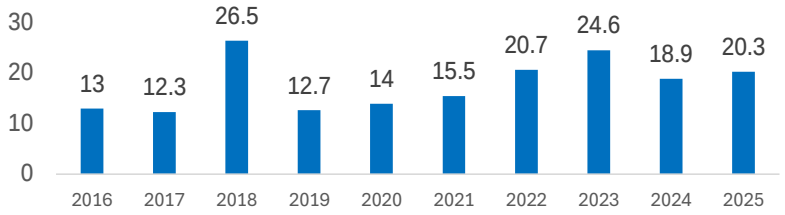


アクセラレーションプログラム「起動」

起動
KI・DO・U

ライフサイエンス／ヘルスケア・カーボンニュートラル・**Web3.0**を中心としたスタートアップ**5**社に、
事業資金と**6**か月のハンズオン支援を提供

大阪府のスタートアップの資金調達額の推移（単位：**10**億円）



出典：INITIAL, 2025年 Japan Startup Finance

地域別大学発ベンチャー数

地域区分	2022年度	2023年度	2024年度	対2023年度比
北海道・東北	320	379	432	**114%**
関東	1,950	2,265	2,708	**120%**
中部	252	279	304	**109%**
近畿	697	773	949	**123%**
中国・四国	226	247	268	**109%**
九州・沖縄	309	313	342	**109%**

出典：2025年度産業技術調査

大阪発スタートアップの状況と支援拠点

スタートアップ創出数

653社

（2025年3月までの5年間）

出典：大阪府「大阪の再生・成長に向けた新戦略」（2026年5月）

上場した大阪の企業

45社

（2023年までの4年間）

出典： 日本取引所グループHP

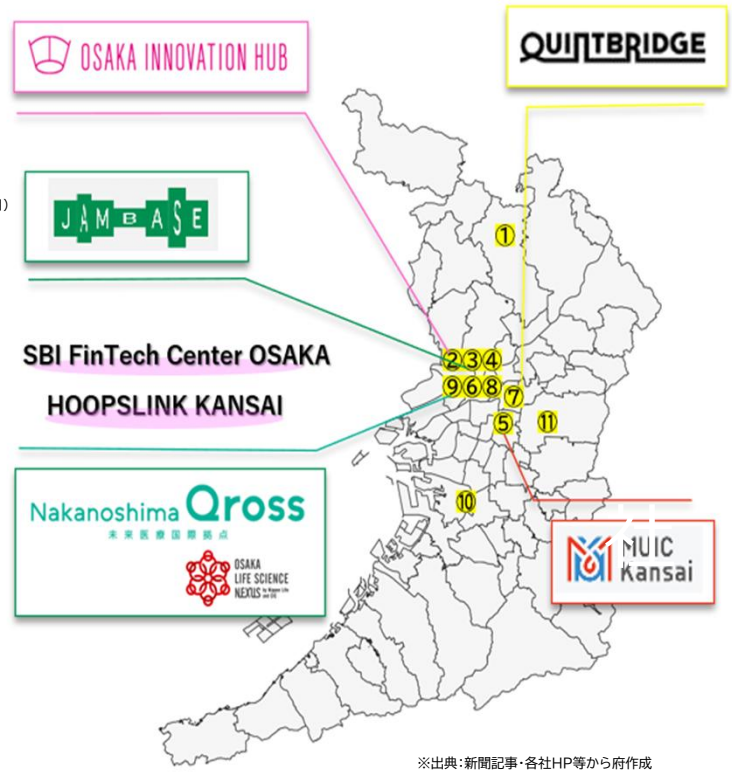
資金調達額

203億円

（2025年）

出典： Japan Startup Finace 2025

◆ イノベーション支援拠点



※出典：新聞記事・各社HP等から府作成

（出典）「Beyond EXPO 2025～直近10年間と万博期間中の取組み～（参考資料編）」 掲載内容を戦略調整局にて加工

①	● 彩都インキュベーション施設〈バイオ・サイト・キャピタル〉
②	うめきた ナレッジキャピタル ● Osaka Innovation Hub（OIH）〈大阪市（大阪産業局）〉 ● enellege（エナレッジ）〈関西電力〉 ● 国際金融ワンストップサポートセンター大阪〈大阪府・大阪市〉
③	うめきた グラングリーン大阪 ● JAM BASE〈コ・クリエーションジェネレーター〉 ● 産総研・関経連うめきたサイト〈産業技術総合研究所・関西経済連合会〉 ● SBI FinTech Center OSAKA〈SBIホールディングス〉 ● HOOPSLINK KANSAI〈三井住友銀行〉 ● BreaQ point Osaka〈りそな銀行〉 ● CNビジネスベース〈大阪科学技術センター〉
④	● Xport（クロスポート）〈大阪商工会議所×大阪工業大学〉
⑤	● MUIC Kansai〈関西イノベーションセンター〉
⑥	● FUTRWORKS（フューチャーワークス）〈阪急阪神不動産〉
⑦	● QUINTBRIDGE（クイントブリッジ）〈NTT西日本〉
⑧	● SeekS×pot（シークスポット）〈京阪流通システムズ×大阪大学〉
⑨	中之島Qross ● Qrossover Lounge 夢 〈未来医療推進機構〉 ● O-Nexus（Osaka Life Science Nexus by Nippon Life and CIC）〈CIC Japan、日本生命保険〉
⑩	● さかい新事業創造センター S-Cube〈さかい新事業創造センター〉
⑪	● MOBIOイノベーションセンター〈大阪府〉

大阪の主要プロジェクト

I
- **うめきた2期（2027年度～）**
- （2024.9 先行まちびらき）

II
- **大阪城東部地区開発（2028年～）**
- （2025.9.24 大阪公立大学　森之宮キャンパス開設）

III
- **IR（統合型リゾート）（開業予定：20230年秋頃）**

IV
- **なにわ筋線（開業目標：2031年春）**

V
- **夢洲第2期区域開発**
- （大阪・関西万博跡地）

VI
- **新大阪駅周辺地域再開発**

I



提供：グラングリーン大阪開発事業者

II



出典：大阪公立大学

III



IV



V



VI



大阪の主要プロジェクト

ＩＲ（統合型リゾート）

（開業予定：2030年秋頃）

・国際会議場や展示場、ホテル、レストラン、エンターテイメント施設、カジノなどが一体となった施設
・民間事業者が設置、運営し、幅広い層が楽しめる魅力ある施設と質の高いサービスを提供

年間来訪者数	約2,000万人	経済波及効果（運営）*近畿圏	約1兆1,400億円/年
年 間 売 上	約5,200億円	雇用創出効果（運営）*近畿圏	約9.3万人/年



国際会議場施設及び展示等施設

- 国際会議場全室で約12,000人以上を収容
- 展示ホールの総面積は約20,000㎡

宿泊施設

- 多様な利用者ニーズに対応した特色ある3つのホテルの総客室数は約2,500室

送客施設

- 大規模なバスターミナル等を整備
- 府内・関西・日本各地に観光客を送出

魅力増進施設

- 日本の伝統的な工芸文化や大阪・関西の食文化等の魅力を発信

来訪及び滞在寄与施設

- 約3,500席の夢洲シアター
- 新しいエンターテイメントを世界に発信

カジノ施設

- 適切な国の監視及び管理の下で公正・廉潔なカジノ事業を運営

国際金融都市の実現～国際金融都市OSAKA

めざす都市像

金融をテコに発展する
グローバル都市

金融のフロントランナー都市

◆大阪の産業・プロジェクトを金融の力で加速させ、日本・世界の未来を切り拓く



大阪・関西の経済成長
世界の課題解決へ

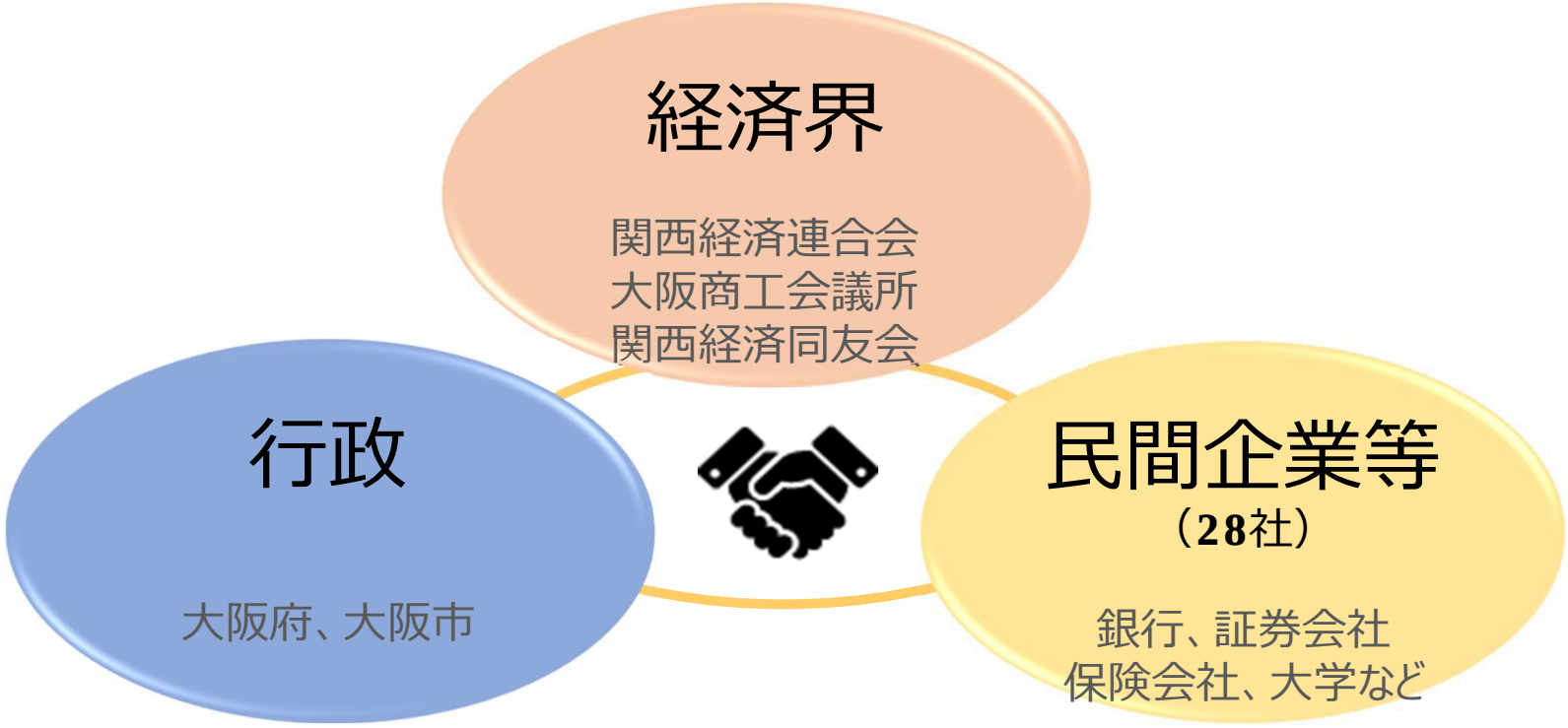
金融の力で取組みを加速
- ヒト・モノ・カネを大阪に集積
  →大阪の産業・プロジェクトへの投資
  →フィンテックとの協業による生産性向上

2022 戦略策定	2025 短期目標（大阪・関西万博）	2030 中期目標	2050 戦略目標年度
始動期・第一期活動期 ・アジア・世界に大阪・関西のビジネス魅力や生活環境等を発信 ・「人材・企業・資金」を呼び込むとともに、投資対象となるスタートアップを集積	**第二期活動期** ・取組みの深化 ・副首都・大阪やSDGs先進都市の実現をファイナンス面から推進	新たな金融商品・市場形成や革新的な金融サービスの開発	金融をテコに発展する都市 金融のフロントランナー都市

オール大阪で推進

■「国際金融都市OSAKA推進委員会」

経済界・民間企業・大学・行政等 **33企業・団体等によりオール大阪** で推進



戦略（第一期）の目標達成と主な支援項目

◆第一期活動期（～2025年度）は、国際金融都市の実現に向けて、土台づくりとなる取組を実施

アウトカム目標

金融系外国企業（フィンテック含む）・投資家等の誘致数：2025年度までに30社誘致 ▶ **31社誘致を達成**（2025年度末）

金融系外国企業等を対象に、大阪での拠点設立にかかるサポート

ワンストップサポートセンター



- 拠点設立や金融ライセンス等の専門的な相談にワンストップで対応し、サポート
  2026年度より、インターナショナルスクールに関する問い合わせにも対応

インセンティブ



- 【日本初！】法人住民税及び法人事業税を最大10年間軽減
- 拠点設立にあたり、事前調査や拠点設立の必要経費の一部を補助
  事前調査　　上限　110万円（100% 補助）
  拠点設立経費　上限1,000万円（50% 補助）

ビジネスマッチング



- 在阪企業にネットワークを持つ企業などの協力を得て、
  投資先や協業先を紹介し、新たなビジネス創出に繋げる

ビジネス・生活環境整備



- 2024年6月に大阪が「金融・資産運用特区」に選定
- 2024年10月以降、各種保険、登記、銀行口座開設の英語手続きに順次対応
- 2025年4月、拠点開設サポートオフィス大阪デスクの設置

特区のコンセプト
“未来社会の実現に向けたチャレンジ特区”

今後の方向性

第二期の方向性
（2026～2030年度）

第一期（～2025年度）で構築した取組みの土台に加え、
万博レガシーや**デジタル金融の進展**も踏まえオール大阪で**取組みを深化**。
副首都・大阪の実現を**金融面で後押し**

- ◆ 国内外からの**更なる金融系企業の集積**、**Beyond EXPO 2025**に掲げる**成長分野での投資・協業等**を促進
- ◆ **先駆的な金融商品**等の形成や**金融イノベーションの促進**など**独自性のある取組み**を推進

戦略目標

【投資・協業促進、金融系企業等集積】
・金融系外国企業等の誘致数：**50**社（第一期からの集積数80社）
・スタートアップの資金調達額：**1,600億**円、海外からの資金調達件数：**10**件、
スタートアップ創出数：**1,200**社(※)
（※）大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムの第2期計画KPI（大阪府値）を活用、2025～2029年度累計

【金融イノベーション促進】
・新たな金融サービスに係る実証実験数：**10**件

【環境整備】
・高度外国人材のニーズを踏まえた
インターナショナルスクール誘致：
小中高等学校相当の全教育課程

【広報】
・海外メディア紹介数：**10**件
・SNSフォロワー数：**5,000**人

具体的取組み

金融をテコに発展するグローバル都市

(1)スタートアップ等への国内外からの投資・協業促進

-国内外金融系企業等への戦略的なプロモーション活動の実施
-スタートアップ等とベンチャーキャピタル等との出会いの場の創出　など

(2)レジリエンス向上の観点を含めた副首都・大阪の実現に資する金融系企業等の集積促進

-誘致インセンティブによる金融系外国企業等の拠点設立支援
-金融機関等のデュアルオペレーションが可能な大阪拠点等設置に向けた働きかけ　など

金融のフロントランナー都市

(1)エッジの効いた先駆的な金融商品・市場等の形成

-新たなデリバティブ商品の検討
-セキュリティトークンを活用した社債・商品の拡大　など

(2)金融イノベーションの促進

-金融サービス等実証実験の支援と規制緩和ニーズの把握
-金融ライセンスにかかる実証実験等の規制緩和の働きかけ　など

2つのめざす都市像に共通する取組み

(1)金融リテラシー向上につながる取組の推進及び金融分野における高度人材育成

-学校・企業等と金融機関等をつなぐコンソーシアムの運営による金融経済教育の実施
-大学等高等教育における金融・起業・テクノロジー教育の実施

(2)海外投資家等を惹きつける生活・ビジネス環境整備

-高度外国人材のニーズを踏まえたインターナショナルスクールの誘致
-英語対応ワンストップ窓口・士業コンソーシアムの運営、拠点開設サポートオフィスへの人材派遣　など

(3)国内外に向けた戦略的な広報の推進・海外との連携

-在外公館・政府系機関・自治体事務所や民間ネットワークなどを活用したPR活動　など

＜国際金融都市OSAKAサイト
・公式SNS＞

